

第 52 回 全 国 中 学 校 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 大 会 参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第52回全国中学校バスケットボール大会			
●日程	令和4年8月21日（日）～ 令和4年8月23日（火）			
●会場	北海道立総合体育センター北海きたえーる・北ガスアリーナ札幌46			
●講師	前田喜庸様 加藤暁生様			
●スケジュール	令和4年8月19日（金）			
	19:00～審判会議・大会前研修 研修①インテグリティ 研修②ポジションアジャスト			
	令和4年8月21日（日）北ガスアリーナ札幌46			
	11:00～PGC 11:50～TOミーティング 12:10～ゲーム開始			
	15:00～PGC 15:50～TOミーティング 16:10～ゲーム開始			
	令和4年8月22日（月）北海道立総合体育センター北海きたえーる			
●担当試合	令和4年8月21日（日） 12:10 ～			
	対戦カード	折尾(九州2) VS 麻里布(中国2)		
	主審	CC 藤代透氏	U1 久郎津義晃氏	U2 正水剛
	講師/主任	IRの配置無し		
	講評	試合後クレーに講評を頂きました。 ・第1Qは緊張による硬さがあったが、第2Q序盤からは良い判定が出来ていた。修正力の高さを感じた。		
	自己の感想	初めての全国大会ということで、かなりの緊張の中ゲームに入りましたが、試合が進むにつれ緊張も解れ、いつも通りの精神状態でレフリングができたと思います。 反省点 ・リードでローテーションのタイミングを気にしすぎ、ドライブに対するポジションアジャストができなかったことや、オフボールのポストでのプレーを判定できないケースがあった。プレーの予測・準備で改善していききたい。 ・タイムアウト後の再開方法の確認を怠ってしまい、再開に時間がかかってしまったケースがあった。PGCなどで再開方法の確認に関して話がなくても、自ら再開方法を確認すべきだった。		
●担当試合	令和4年8月21日（日） 16:10 ～			
	対戦カード	実践学園(関東2) VS 北斗浜分(北海道1)		
	主審	CC 大野哲広氏	U1 宮崎拓氏	U2 正水剛

	講師／主任	IRの配置無し		
	講評	<p>試合後クレーに講評を頂きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自がプライマリーエリアを守り良いクレーワークで1試合を終えることができた。 ・1試合通じて大きな取りこぼしなく進行していた中、ラスト1プレーで判定でなかった。勝敗が決まっても試合終了までしっかり判定しなければならない。 		
	自己の感想	<p>2試合目ということもあり緊張せずゲーム入ることができました。</p> <p>PGCでプライマリーエリアについて重点的に確認したこともあり、クレー全員がエリアを意識した判定ができていたと感じました。個人的に良かった点はオビアスなものをしっかり判定できていたと感じました。</p> <p>反省点</p> <p>センターでのポジションアジャストで、センター側の高い位置にボールがある時のアジャストの遅れや、センターから良い位置で捉えられていたのにトレイルローテーションが行われたことにより無理に高い位置に移動し、悪い位置に移動してしまうケースがあった。今後は体の向きを変えることによりローテーション完了を示すなど工夫していきたい。</p>		
●担当試合	令和4年8月22日	(月)	12:10	～
	対戦カード	浜松開誠館(東海2)		VS 津軽(東北1)
	主審	CC 高橋 伸禎 氏	U1 井邊 正城 氏	U2 正水 剛
	講師／主任	IRの配置無し		
	講評	<p>試合後クレーに講評を頂きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オフボール(特にポストでのポジション争い)での手の使い方を整理する必要があった。 ・TOミスがあったが処置ミスすることなく処理できた。 		
自己の感想	<p>良かった点は、判定に対しコーチと良くコミュニケーションをとれたことです。アピールされることがありましたが判定理由を自分の言葉で説明できたことは、自信になりました。</p> <p>反省点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレイル時に目の前から始まったドライブに対して、リードプライマリーのものをタイミングよく判定してしまった点。前日のゲームのように試合前にプライマリーエリアを再確認し意識することで改善を図りたい。 ・4Q残り2分を切っている場面で、交代できないタイミングでのTOミスによりブザーが鳴ってしまった。さらにこのタイミングでタイムアウトの請求もあり、スムーズに対処出来なかった。今後は、起きてしまった事象を1つ1つ処置・説明しながら処理していきたい。 <p>最後になりましたが、本大会実施にあたり北海道の皆様、大阪府審判委員会の皆様に感謝申し上げます。今回の派遣で経験したことの今後の審判活動に活かしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。</p>			